



ミャンマーへ向けて出発する神徳さん（左）と菅原さん＝ＪＲ岡山駅

AMD A 医師ら派遣

現地支援ニーズ探る

ミャンマーで3月28日に発生した大地震の支援ニーズを探るため、国際医療ボランティアAMD A（岡山市北区伊福町）は4日、医師ら3人を現地に派遣した。

AMD A被災地支援ネットワークに登録する医師の神徳隆之さん（42）、看護師菅原久美子さん（45）と、AMD A職員の女性看護師。同日朝、ＪＲ岡山駅を出発し、成田空港を経由して5日午前にミャンマーに入る。

3人は現地の団体と協力し、9日ごろまで同国の最大都市ヤンゴンで必要とされる医療や救援物資を調べる。岡山駅で神徳さんは「現地でしか得られない生の声

を聞き、支援の在り方を探りたい」と話した。

（小川耕平）